

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2022年

7月

203号



- ◇ 自死を防ぐ生き方
- ◇ 人生を変える言葉の力
- ◇ 免疫異常の病気を治す／潰瘍性大腸炎

宗教法人 真生会

信仰の視野を広げよう

『自分から家族へ、家庭から社会へ』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声がけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

心のオアシス真生楽園―華の競演



◇究極の熱中症対策

あつという間に梅雨が明け、全国一斉に猛暑の毎日。家の中でも、昼でも夜でも、誰でも熱中症にかかります。外が体温以上に熱くなるので、内なる心に怒りの熱、不足不満の熱を溜め込まない。

どんな仕事も感謝と喜びでさせてもらい、心を涼やかに保つことが大切です。

花たちは暑さにめげず、精一杯頑張って見る人の心を癒してくれています。

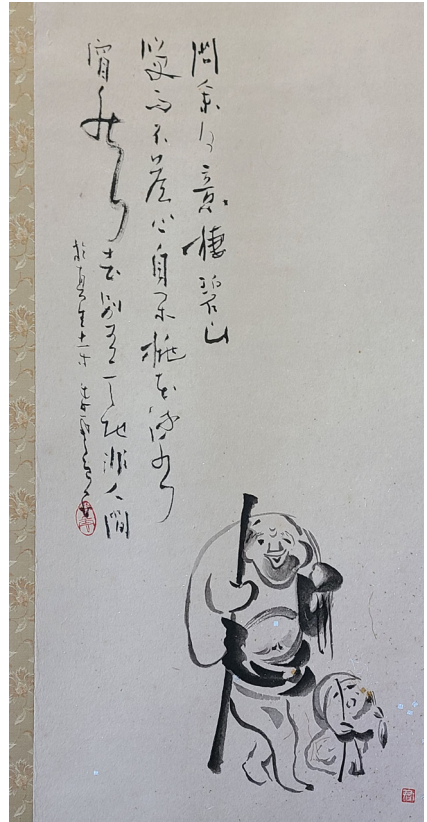
開祖さまの願い「地上天国・真生楽園」へ心を癒しにご参拝下さい！

李白「山中問答」
問余何意棲碧山
笑而不答心自閑
桃花流水窅然去
別有天地非人間

余に問う 何の意ぞ碧山へきざん
に棲すむと 笑つて答えず
心おのず 自おのずから閑かんなり 桃花
流水 窅ようぜん然として去る
別に天地の人間じんかんに非あざる
有り

(大意) 「どういう気持ちでこんな緑深い山奥に住んでいるのか」人が私に尋ねる私は笑うばかりで答えない 心はどこまでも伸び伸びとしている 桃花の花びらが浮かび 水はどこまでも流れている ここは俗世間とは違う別天地である

画 (布袋) 教母さま 賛 (山中問答) 平松紫雲師



胡蝶忌

七月三十一日は教母さまの二十八回忌祥月ご命日です。教会に参拝し、心から報恩感謝の祈りを捧げましょう。

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁



宗教はまず実行が肝要です。いたずらに理屈が分かったからと言って、それで人間性が良くなるわけではありません。正しい理論も実践してこそ功德があるのです。

私たちの日常生活は喜べることばかりではありません。知らぬ間に罪の業は累積され、ある日突然思いもよらぬ問題が起きて右往左往するのです。故に悲しいことが起きる前に少しでも徳を積んでおくことが大切です。

徳積み最大の妙法は広流布です。善業は、そろばん勘定かんじょうから言えば損ばかりでしょうが、人は損のくじが喜んで引ける間は栄えます。分の良い話に飛びついた人が、最後は大失敗しているのが世の姿です。

例えば法を広める法座を開く功德は、多くの人に喜ばれ、救われた人たちの喜びは法座施主の喜びとなり、わが家の徳となって、一家繁栄の基礎となるのです。

(1979年、真実に生きるひかり11号より)

ぶし眞教法話

会長 田中庸仁
たなか つねひと



◇自死を防ぐ生き方

五月十一日、ダチョウ倶楽部の上島竜平さんが自死され、あんなに良い人が何故！と芸能界や社会に衝撃が走りました。

その前は俳優の渡辺裕之さん、女優の竹内結子さん、若手俳優の三浦春馬さんが自死されました。一見華やかで成功街道まっしぐらに思える有名人でも、どんな良い人でも悩み苦しみはあります。

この世は「苦の娑婆」なので苦は無くなりません。苦の無くなるのはお悔み（苦しみ）の時以外ないのです。一流になりトップになるほど人に言えない苦悩が出てくるのです。人生に行き詰った時に必要なのが、心から相談できる「教える師」であり「法の友」です。

お釈迦さまは「善き法の友を持つことは教えのすべてである」と申され、開祖さまは、親にも言えない、夫婦でも言えない、友達にも言えないことでも相談できるのが『教えの師』であると言われました。

お釈迦さまのことを本師、釈迦牟尼如来とお呼びします。お釈迦さま以来、師匠から弟子へ二千五百年間途切れることなく伝えられたのが仏教です。

上島竜平さんの師匠は、志村けんさんだと言われていますが、二年前コロナで急逝^{きゆうせい}されて以後、相談できる師がいなかったのでしょうか。残念なことにこの方々には、死にたくなるほど苦しい時に相談できる「師」がなかったのです。

開祖さまは常に「生きた師」を持ってと教えられました。そのみ教えの通り、第一の師が亡くなられたら第二の師、第二の師が亡くなられたら第三の師と晩年に至るまで師の添削を受けられ自身を磨き続けられたのです。

最近では仏教の解説本や人格形成や成功体験のHOW・TOW本が巷^{ちまた}に溢^{あふ}れ、独学する人も多く見られますが、読書仏教、読書信仰には限界があり、師のない仏教はあり得ません。

本書を購読されている会員信徒の方はもちろん、読者の皆様もどんな小さな

悩みでも遠慮なく、真生寺や教会を訪ねてご相談ください。きっと希望の光が差し込み、大安心の人生を歩むことができます。

◇人生を変える言葉の力、正しく伝える

言葉には言霊ことだまと言って、人の人生を大きく変える力があります。一言で相手の人生を大きく前進させることも絶望させることもできる言葉はとても大切です。

某TV番組で一人のご婦人の結婚に至る昔のエピソードを放映していました。ある女性が知り合った男性と結婚の約束をし、彼の実家である東北の田舎に大阪から北陸線の夜行列車に乗って彼の両親や兄弟親戚に挨拶に向かった。

もともとあまり賛成されていなかった恋愛だったので、不安を抱きながら向かった。途中大雪のため列車が進めなくなり大阪に戻ることになった。携帯電話もない時代、彼の実家に連絡も取れない。約束の時間に間に合わない、万事休す。思わず「嗚呼！やり切れ、わ」と一言嘆いたら、隣に座っていた老紳士が「どうされましたか」と尋ねられ、事情を話すと「槍やりは切るものではなく、槍は通すものです。あなたの目的をやり通しなさい」と力強く励まされ、東北

に向かう方法は他にもある。米原まで戻って新幹線に乗り換えて、東京でまた乗り換えて行く方法があると教えられ勇気を取り戻した。

しかし、東海道新幹線も途中大雪でストップ、在来線を何度も乗り換え、三日かかって到着した。もうダメかなと思いつながら駅にたどり着いたら、彼が駅で待っていてくれ、両親や家族も心から迎えてくれて、反対であった結婚が成就できたというドキュメントでした。彼女の不屈の努力もさることながら、一人の紳士のユーモアがあり、正しい言葉の受け止め方と伝え方で一人の女性の運命を救ったことに感動しました。一声が人を生かす「ひと肥こえ」となったのです。

日本語は素晴らしい。特に教える言葉、受け止め方のすばらしさを私たちも宝の持ち腐れにせず、勇気と妙法行者の使命感をもって伝えましょう。

- ① 難が有るから「有り難い」
- ② なったことを喜ぶ（すべては仏さまのお手配なのだから）
- ③ 徳が本なり、財は末なり（人に悦びを与えた徳が本当の財産）
- ④ お蔭さまの人生（目に見えない仏さまや先祖に守られて今日がある）
- ⑤ 心が小丸だから困るのだ、大丸になれば困らない。

⑥鉄砲玉は真綿まわたで受けよ(どんな強い相手も柔らかく受ければ火花は散らない)
言葉の受け止め方で人生は変わるのです。

◇免疫異常の病気を治す

どんなに医学が進んでも病苦は無くなりません。

現代病の一つとして免疫異常めんえきいじょうの難病が増えています。潰瘍性大腸炎かいようせいだいちょうえん、リウマチ、川崎病、膠原病こうげんなどの免疫異常の病気が、幼児、若年、中年、高齢者の年代を問わず急増しています。幼児の病気は親の心得間違いから生じます。

免疫異常とは、自分の体を外からのばい菌やウイルスから守る大切な自己防衛機能が自分の体の一部を外敵と勘違いし、自分の体を攻撃し破壊する病気で、つまり、本当は自分を守っていてくれる大切な親や夫婦や家族の一面や一部分だけを見て悪く思い、反発・反感・否定という攻撃的な思いを強く持っているからです。もしくは、自己防衛の思いが強すぎて、自分の立場や利益を守るために相手を攻撃したり精神的に束縛そくばくしたりすることが原因と言えます。

特に最近「潰瘍性大腸炎」の患者が増えているそうです。

慢性的に下痢や腹痛を繰り返し、突然症状が起きるので仕事にも影響が出て

安心して働けない大変つらい病気です。

大腸は父親や夫、目上（長）に対する悪念、怨み憎しみ、反発、反感が原因です。自分は親や夫に守られている、社長や目上の人に守られている、有り難いと心から感謝する、もう一步進んで「自分が親を守ろう、幸せにしてあげたい」と考え方を切り替えれば、原因不明の難病でも必ず、薬や治療が効き治っていきます。

しかし、病気は気を病む、つまり「心癖」ですから、うっかり元の心が起き始めると再発するので、常に教えという良薬を飲み続け、主治医（教えの師）のカウンセリング（添削）を受けることが不可欠です。教えは「心が変わればたちまち世界が変わる」特効薬であると同時に、ずっと飲み続けて「心癖」という体質を変える漢方薬と同じです。

法華経信仰は、目の前の悩み苦しみの解決や念願成就だけでなく、人格向上、人格完成の成仏を目標に精進することが本来の目的です。ああ助かった、もう大丈夫と苦の解決や願い事の成就で油断し信仰から遠ざかったり、精進を怠れば早晚元の木阿弥もくあみになってしまいます。

釈尊物語

②3

◆◆在家仏教者の在り方◆◆

マハーナーマは十大弟子阿那律尊者あなりつの
実兄であり、熱心な在家信者であった。

ある時、彼は釈尊に尋ねました。

「お釈迦さま、私は長い間在家仏教者
として法を聞き、ようやく教えの意味が
理解でき、貪とん（むさぼり）・瞋じん（いかり）
痴ち（ぐち）を離れなければならぬと心
得ていますが、時々貪瞋痴の三毒が心を
占領する時がありますが、それはどうし
てでしょう。また、どうしたらよいので
しょうか？」

釈尊の答えは簡潔明瞭かんけつめいりょうであつた。

「それは、在家の生活をしているから
である。家にあつて凡夫の生活をしてい
るから欲望から離れられないのである」
家を守るために在家の道を選んだマ
ハーナーマはさらに尋ねました。

「在家にとどまり、生業に従事する限
り、完全に煩惱を離れることのできない
私たち在家仏教者は、どのようにすれば
よいのでしょうか」

ここでも釈尊の答えは簡明でした。

「それは仏に帰依し、法に帰依し、僧
に帰依することである。たとえ煩惱うず
まく俗世の真つ只中にいても、よく三宝
に帰依することによって、法の流れの中
に入るができる。それが在家仏教と
いうものである。」

例えば、山上に雨が降れば、その水は山を下り、次第に低き所に集まり、山間の溪流けいりゅうに流れ入り、小さな川となり、大きな河に注ぎ、やがて大海に注ぎ入る。それと同じように、三宝によく帰依する者は、それによつて法の流れに入ることを得て彼岸に至り、煩惱の滅尽に到達するであろう」

「しかしお釈迦さま、私たち在家の生活は日々様々な出来事に会い、動揺したり心を奪われたりして、つい、仏を忘れ、法を忘れ、僧を忘れてしまうこともありませぬ。そんな時に災難に合つて命を終わるようなことがあつたならば、私はいずれの所に趣おもむき、来世はいかなる生を受けるのでしようか。心配です」

釈尊はさらに譬えをもつて語られた。

「マハーナーマよ恐れ心配することは無い。例えばここに一本の木があるとする。その木は東に傾き、東に枝を伸ばしているとする。もし人がその木の根元を切つたとするならばその木は一体いずれの方向に向かつて倒れるであろうか」

「はい、その木は東に向かつて倒れるほかありません」

「そのとおり、それと同じようであつてく三宝に帰依する在家の仏教者は、命が終つても、必ずや善き所に趣き、良き生を受けるであろう」

私たちも同様に日々、お経をあげ、仏さま、教え、法友の縁を結び意識がそちらに向いていれば必ず守られるのです。

今月の運勢（8月）

（2022年8月7日～9月7日）

一 白水星

困難が重なり苦労が大
きい。如何なる苦難に
もくじけず最後まで初
志を貫けば、切り抜け
られる。心に思ってい
ることが通るので、誠
意をもって前向きに考
えること。先祖供養を
忘れないように。

二 黒土星

大きな包容力で皆をま
とめ、相手を敬い、立
てるように従えば何事
もうまくいく。意見を
同じくする仲間と一緒
に行えば最後は喜びを
得る。緊張感を欠いた
馴れ合いはよくない。
三 碧木星

三 碧木星

驚くようなことが起き

るが、慌てて自分を見
失わないこと。泰然と

していれば、後は福と
なる。日頃から仏を拝
み信仰心を鍛えてあれ
ば何事にも動揺なく、
大きな失敗はしない。

四 緑木星

相手をよく見て、信頼
のできる目上の人に素
直に従って行けば良い
結果がもたらされる。
運気は強いが過信して
大きな事を考えない。
謙虚な姿勢で相手の懐
に飛び込んで行こう。
五 黄土星

五 黄土星

八方塞がりや周囲から
見られている。事を始
める前に自分の考えを
しっかりと伝えること。

大きな行動は慎み、エ
ネルギーを蓄えよう。

優しさと面倒見の良さ
で後進を育てよう。

六 白金星

新しいことを始める
時。願う事は大いに叶
う。但し、目的と方法
が正しくても一貫性が
無ければことは成就し
ない。年長者や実力者
の応援が得られる。余
分な心配はしない事。

七 赤金星

大きな収穫が得られ、
悦びがこみ上げ、笑い
の絶えない時である。
但し、収穫が正しい方
法で得られたものでな
くてはいけない。努力
なしで棚からぼた餅方

式ではいけない。

八 白土星

大いなる停止の時。立
ち止まって生活を見直
そう。欲を止めて無私
無欲でことに当たるこ
とが大切。心を大きく
保ち、何が起きてもし
ちい心動かされな
いこと。心の持ち方一
つでどうにでもなる。

九 紫火星

情熱と勢いはあるが一
人でやる時ではない。
師匠に付き仲間がいれ
ばよい。他人の言葉に
よく耳を傾け、謙虚な
気持ちを見失わなければ
吉となる。仲間と正し
い関係を保ち孤独にな
らないこと。

「まごころ誌代」御礼

細谷早予子	片桐淳子	松尾定洋	加納啓至	佐藤光洋
浅井佑季子	奥田佳代	田中庸仁	澤 君美	木村正美
今園雄太	永田雅子	田中佑季子	澤 芳子	伊東 晃
松下祐侑香	坂本育身	田中光隆	加納優子	安田初子
樋口容子	村上視佑記	田中理夏子	加納悠貴	山本季美衣
樋口恵美子	堀田純子	亀井善広	加納宏樹	増田恵視子
東臯杏衣	笹原トミ子	亀井由実子	加納快志斗	岸本昌子
小俣丈子	笹原正子	田中啓予	多田佳央	滝本光夫
某	平口富子	田中宏明	宮田雄貴	四日市某
荒木敬依子	正木みつ子	田中花音	横山侑可	岸本周夫
林田早紀子	某女	足立和美	土川順寛	高橋けさ江
滝山恵依子	小林佑実子	早野桂子	土川恭代	松本真由美
宮島りえ	谷口祐晟	早野起世	土川康二	京川春男
今井純司	谷口祐子	笠井和樹	土川廣美	鈴木正巳
坪井佑介	今井龍廣	笠井隼太	横山知津子	福元正子
出田 溪	堀部恭利	笠井稜介	半澤照子	豊田直正
小村友子	亀井善二	高橋身衣	佐藤百々枝	豊田真悠子

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもつて感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

若者は

大物に会わせよ

大きな仕事をさせて力をこ

けさせよ

下の者を育てるには

卑屈にさせてはいけない

自信と誇りを待たせよ

勝海舟

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|-----------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
TEL 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
TEL 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
TEL 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒454-0808 | 名古屋市市中川区九重町 3 - 10
TEL 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします。詳しくはお尋ねください。